



令和4年度 雲仙ふるさと景観百選受賞作品【新緑の森で祈る／撮影場所：瑞穂町】

主な内容

P2 令和5年度事業ピックアップ

P9 常任委員会報告

P13 市政を問う「一般質問」

P19 議会のうごき

P20 雲仙市議会に関する
市民アンケート

298億27万円

ピックアップ

定住促進対策事業

7,905万円

【事業目的】

定住・移住に関する支援を行い、市内の方の定住及び市外の方の移住を促進し、人口減少対策および地域コミュニティの維持・活性化を図る。

【事業内容】

- ①定住促進奨励補助金
・新築住宅取得補助金 ・中古住宅購入補助金

- ②移住促進空き家リフォーム補助金 **拡充**
【内容】対象者に空き家活用団体を追加

- ③若者Uターン家賃補助金

- ④お試し住宅の運営

- ⑤空き家等情報登録制度（空き家バンク）の運営

- ⑥空き家バンク登録奨励金 **拡充**
【内容】対象者に空き家活用団体を追加

- ⑦空き家活用促進奨励補助金
・空き家物件調査補助金 ・家財道具等片付け補助金 ・空き家仲介手数料補助金

- ⑧定住促進奨学資金償還補助金

- ⑨地域産業雇用創出チャレンジ支援事業移住支援金 **拡充**
【内容】子どもがいる世帯への加算措置の拡充

- ⑩高校生寮費等支援補助金 **新規**



【内容】市内の高校に通学する高校生の寮費などを支援

- 【交付目的】 ・転入し入学する学生の確保による人口の維持及び増加
・市内高等学校の存続による地域活性化

- 【補助対象】 市内高等学校の寄宿舍などの舎費(食費を除く)
※雲仙市に住民票がある生徒に係るものに限る

- 【補助額】 1人当たり5,000円/月(60,000円/年)
※県の寄宿舍運営費補助金の対象となっている寄宿舍は対象外

- 【補助対象者】 市内高等学校の寄宿舍などの運営者

- 【財源】 ふるさと納税

- ⑪ながさき移住サポートセンターとの連携

- ⑫移住希望者等に対する情報発信など

令和5年度一般会計当初予算

令和5年度事業

子どもの遊び場整備事業

1,736万円

【事業目的】

子育て環境を充実させ、本市への移住・定住を促進するため、既存施設の活用を基本とした全天候型施設や、他の施設との併用・連携を図った、子どもの遊び場「うんぜん ほっと・フィールド（仮称）」の整備を図る。

【事業内容】

子どもの遊び場にかかる「基本計画」の策定



行政デジタル化推進事業

7,634万円

【事業目的】

デジタル技術を導入し、定型的業務を中心とした市役所業務を効率化することで、職員が住民サービスに向き合う時間を増やし、住民サービスの向上を図る。

【事業内容】

- ①マイナンバーカードを活用してコンビニなどの店舗において住民票などの交付を行うコンビニ交付の導入
- ②市役所窓口における申請の簡素化を図る“書かない窓口”の導入
- ③申請から使用料の支払いまでをオンライン上で完結できる施設予約システムの導入
- ④RPAの活用（定型的なパソコン作業・処理を人に代わり自動化）
- ⑤AI-OCRの活用（紙帳票をシステムで読み取り、記載内容を電子化）
- ⑥チャットサービスの活用（パソコンやスマートフォンを使った業務連絡など）



出産・子育て応援事業【新規】

2,736万円

※令和4年度 一般会計補正予算（第7号）において、3,473万円

【事業目的】

全ての妊婦や子育て家庭が安心して出産・子育てができるように、妊娠届け出時から妊産婦に寄り添い、面談などにより必要な支援につなげる伴走型相談支援と併せて、妊娠届と出生届後に経済的支援を行う。

【事業内容】

- 「伴走型相談支援」と「経済的支援」、2つの支援で子育て家庭をサポート！

伴走型相談支援

妊娠期から出産、子育てまで、保健師や助産師が相談に応じます。

3回の面談を実施

- 面談① 妊娠届時 … 全ての妊婦
- 面談② 妊娠8カ月頃 … 希望する妊婦のみ
- 面談③ 出生届後 … 全ての産婦（養育者）



経済的支援

妊娠届を提出した後と、出生届を提出した後に経済的な支援を行います。

2回の給付金を支給

- 出産応援（面談①時） … 妊婦1人当たり5万円
- 子育て応援（面談③時） … 出生児1人当たり5万円

給付金の対象者

- 申請時に本市に住所を有し、それぞれの面談を受けた人
- 他の自治体で、出産・子育て応援事業（現金やクーポンなど）の給付を受けていない人

※この事業の対象者は令和4年4月1日以降に出生した子を養育する人です。対象の人で、この事業開始（令和5年3月1日）前に出生した子を養育している人へは個別に通知を行います。詳しくは、子ども支援課（電話 0957-47-7874）にお問い合わせください。

送迎用バス安全装置導入支援事業【新規】

600万円

【事業目的】

送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置の義務化に伴い、保育所などが行う安全装置導入を支援し、子どもの安心・安全を確保する。

【事業内容】

車内での幼児の見落としを防止するブザーなどの安全装置導入のための支援を行う。

- ①保育所など 基準額 30万円×18台（10カ所）=540万円
- ②放課後児童クラブ 基準額 30万円×2台（2カ所）=60万円



医療的保育ケア児保育支援事業【新規】

2,238万円

【事業目的】

日常生活を営むために医療的援助を必要とする状態にある児童（医療的ケア児）が、保育所などの利用を希望する場合に、受け入れが可能となるよう保育所などの体制を整備し、医療的ケア児に対する地域生活支援の向上を図る。

【事業内容】

保育所などにおいて、看護師などを配置し、医療的ケアに従事させることや保育士などが医療的ケアを行うために必要な研修を受講するための支援を行い、医療的ケア児の受け入れを可能とする体制を整備する。

- ①看護師などを配置して医療的ケアを行う場合
基本分単価：1カ所当たり 年額 529万円
- ②保育補助者配置加算
加算分単価：1カ所当たり 年額 217万円



老朽危険空家等除却支援事業

1,100万円

【事業目的】

老朽化などによる危険な空き家住宅・空き建築物の除却を行う者に対し、除却費の一部を補助することにより、安全・安心な住環境づくりを促進する。

【事業内容】

〔対象建築物〕

- ・市内にある建築物（木造または鉄骨造）で、現在使用されていない建築物
- ・構造の腐朽または破損が著しく、危険性が大きいと判断される建築物
- ・空き建築物にあっては、上記に加え、周辺の住環境を悪化させ、もしくは公衆の安全の確保に著しい支障をきたすおそれがあるもの

〔対象経費〕

- ・除却工事費（国の標準除却費を限度とする）に10分の8を乗じて得た額

〔補助金額〕

空き家住宅	空き建築物【拡充】
対象経費の2分の1 補助上限額 50万円	対象経費の4分の1 補助上限額 20万円



防災対策システム整備事業

1億3,007万円

【事業目的】

災害対策本部の事務および情報整理の煩雑さを解消し、迅速な意思決定を行うとともに、危険箇所などを常時監視できる体制を構築し、迅速かつ的確な判断につなげ、市民への適時、適正な避難情報の提供を行うため、防災対策システムの整備を行う。

【事業内容】

事業期間：令和3年度～令和5年度全体事業費 2億3,868万円

- ①防災対策システム整備
- ②市内危険箇所への防災カメラ整備
- ③各総合支所および近隣自治体、
消防署とのテレビ会議システム整備
- ④雨量観測システム整備
- ⑤聴覚障がい者用文字表示戸別受信機整備



議案 第5号 雲仙市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

子どもの福祉医療の対象者が4月1日から高校生世代まで拡大されます！

子どもの福祉医療では、これまで小学生と中学生を対象に助成を行ってきました。4月1日から対象者を拡大し、高校生世代まで助成します。

【条例改正の主な内容】

- ①子どもの対象年齢を中学生から高校生世代まで拡大する（4月から実施）
- ②支払い方法について、乳幼児のみ実施している現物給付を中学生まで拡充する（10月から実施）
なお、高校生世代は償還払いによる支払い

- ▶ 現物給付…病院窓口での治療費は一部負担金のみ
- ▶ 償還払い…病院窓口で治療費をいったん支払い、
後で市から払い戻しを受ける



令和5年第1回雲仙市議会臨時会(R5.2.10開催) 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第 1 号	令和4年度雲仙市一般会計補正予算（第7号）案について	原案可決
議案 第 2 号	公有水面埋立に関する意見について	原案可決

令和5年第1回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第 3 号	雲仙市一般公園条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 4 号	雲仙市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 5 号	雲仙市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 6 号	雲仙市子ども・子育て会議条例及び雲仙市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 7 号	雲仙市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び雲仙市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 8 号	雲仙市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 9 号	令和4年度雲仙市一般会計補正予算（第8号）案について	原案可決
議案 第 10 号	令和4年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案について	原案可決
議案 第 11 号	令和4年度雲仙市温泉浴場事業特別会計補正予算（第2号）案について	原案可決
議案 第 12 号	令和4年度雲仙市企業誘致用地整備事業特別会計補正予算（第4号）案について	原案可決
議案 第 13 号	令和4年度雲仙市水道事業会計補正予算（第3号）案について	原案可決
議案 第 14 号	令和5年度雲仙市一般会計予算案について	原案可決
議案 第 15 号	令和5年度雲仙市国民健康保険特別会計予算案について	原案可決
議案 第 16 号	令和5年度雲仙市後期高齢者医療特別会計予算案について	原案可決
議案 第 17 号	令和5年度雲仙市国民宿舎事業特別会計予算案について	原案可決
議案 第 18 号	令和5年度雲仙市温泉浴場事業特別会計予算案について	原案可決
議案 第 19 号	令和5年度雲仙市企業誘致用地整備事業特別会計予算案について	原案可決

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第 20 号	令和5年度雲仙市水道事業会計予算案について	原案可決
議案 第 21 号	令和5年度雲仙市下水道事業会計予算案について	原案可決
議案 第 22 号	教育長の任命について	原案可決
議案 第 23 号	令和4年度雲仙市一般会計補正予算（第9号）案について	原案可決
議案 第 24 号	令和5年度雲仙市一般会計補正予算（第1号）案について	原案可決
諮問 第1～2号	人権擁護委員候補者の推薦について	同 意



おおつ よしのぶ
大津 善信 氏

教育長

令和5年3月1日～
令和8年2月28日（3年間）



きむら かずのり
木村 一徳 氏
(再任)



とくなが たかし
徳永 卓 氏
(再任)

人権擁護委員

令和5年7月1日～
令和8年6月30日（3年間）

**退任された
下田教育長**



令和2年3月1日に就任され、1期3年にわたり教育長として市の教育発展に粉骨砕身ご尽力いただきました。

今後のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

賛 否 表

議案番号	議席番号																			
	結 果	表 決 数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
※本会議において否決及び賛否が分かれた議案について掲載しています。			藤本 淳次郎	山本 松一	大山 真一	矢崎 勝己	前田 哲	渡辺 勝美	佐藤 義隆	林田 哲幸	坂本 弘樹	酒井 恭二	深堀 善彰	上田 篤	町田 康則	大久保 正美	小畑 吉時	元村 康一	小田 孝明	平野 利和
令和5年度雲仙市一般会計予算案	可決	16:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
令和5年度雲仙市後期高齢者医療特別会計予算案	可決	16:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対 ▲欠席 ※議長（松尾文昭）は、採決に加わらない。

総務

委員会

委員長	渡辺 勝美
副委員長	上田 篤
委員	松尾 文昭 平野 利和 元村 康一 深堀 善彰 佐藤 義隆

シテイプロモーション

問 シテイプロモーション推進事業とは何か。

答 雲仙市民でよかったと誇りに思ってもらえるような市民向けプロモーションと、選ばれるまちになるための市外向けプロモーションを展開するため、民間事業者の持つ多様な媒体を活用し情報発信するものである。

問 多様な媒体とはどのようなものか。

答 新聞、テレビ、インターネット動画、SNSなど民間事業者が持つ媒体であり、これらを利用してPRしていきたい。

広報推進課

消防本部の一本化

問 常備消防費において、県央地域広域市町村圏組合負担金と島原地域広域市町村圏組合負担金の算出方法はどうか。

答 県央地域広域市町村圏組合は各市にある消防施設の職員割が85%、人口割が15%という算出方法であり、島原地域広域市町村圏組合は基準財政需要額をもとに算出されている。

意見 1つの市で2つの消防本部の管轄に分かれている現状については、これまでも消防本部の一本化を要望してきたが、2つの組合で負担金の算出方法が異なる点についても今後検討していただきたい。

市民安全課

空き家活用団体

問 定住促進対策事業の拡充として、移住促進空き家リフォーム補助金と空き家バンク登録奨励金の補助対象者に空き家活用団体を追加するとの説明があったが、そのような団体が現時点であるのか。

答 小浜町に1団体ある。この団体は、県の補助事業を活用するために認定された団体であり、市内で1団体しか認定できない。市独自の空き家活用団体登録制度をつくり、空き家活用をさらに推進していく予定である。

公共交通対策の在り方

問 公共交通対策事業として、路線バスや島原鉄道に対する各種補助金など約6246万円が計上されている。関係市町で赤

字補填も必要だ。市はどのように考えているのか。

答 島原鉄道の鉄道部門は赤字経営が続いているので、県主導で立ち上げた鉄道の在り方を検討する「島原鉄道活性化検討部会」で令和7年度をめどに方向性を出す予定である。

地域づくり推進課



現地視察（吾妻町牛口東公園）

文教厚生

委員会

委員長 大山 真一
 副委員長 前田 哲
 大久保正美
 酒井 恭二
 矢崎 勝己
 藤本淳次郎

条例改正 出産育児一時金の増額

問 出産育児一時金の額を40万8千円から48万8千円に改正するとの説明だが、雲仙市における出産費用の平均はどれくらいなのか。

答 平均は49万円である。出産費用の額が不足するが今回の改正をどのように考えているのか。

答 今回の条例改正は、健康保険法施行令の改正に伴うものであり、市では独自に出産された保護者に子ども1人当たり20万円の赤ちゃん支援金の制度を設けている。

総合窓口課

中学校の部活動地域移行

問 中学校の部活動地域移行の方向性はどうなっているのか。

答 市の現状は、生徒数が減少し、団体種目については中学校単独でのチーム編成が難しくなっており、競技ごとの体制づくりを検討していかなければならない。

意見 競技団体の指導者や市のスポーツ協会などと協議を重ね、よりよい方向性を見いだしてほしい。

学校教育課

地球温暖化対策

問 地球温暖化対策事業の内容はどのようなものなのか。

答 地球温暖化対策実行計画の改定を行うもので、ハイナリー発電のサポートやバイオディーゼル燃料の普及促進、市が管理する施設におけるエネルギー使用量の把握などを行うものである。



現地視察（雲仙市環境センター）

令和5年度 温泉浴場事業特別会計 予算案（浜の湯）

問 財政調整基金を全て取り崩し、一般会計から171万8千円の繰入金を上しているが、赤字解消の方策についてはどのように考えているのか。

答 特別会計は独立採算が原則であり、一般会計からの繰り入れは好ましくないと考える。まずは、利用者の増加を図る対策を講じ、それでも対応が追いつかない場合は、近隣施設の料金などを参考に使用料の見直しを早急に行う必要がある。

☆附帯決議
 本委員会は、令和5年度雲仙市温泉浴場事業特別会計予算案に対し、「使用料の値上げを早期に検討し、赤字を解消すること」との附帯決議を付けました。

環境政策課

産業建設

委員会

委員長	坂本 弘樹	小田 孝明
副委員長	町田 康則	林田 哲幸
	山本 松一	小畑 吉時

雲仙地獄の整備

問 国立公園利用拠点滞在環境等上質化事業の繰り越し理由は何か。

答 地熱による爛付けの一元化に向けた地獄の湯量調査について、令和3年の被災後から湯量が不安定な状態であり、調査や関係者などとの協議に時間を要したこと。また、雲仙地獄をどのような形で整備するかについても、関係機関などとの協議に時間を要したためである。

観光物産課

老朽危険空家の除却支援

問 老朽危険空家等除却支援事業はどのような内容なのか。

答 もともと住宅であった危険な老朽危険空家を補助対象としていたが、令和5年度から拡充し、通行人や周辺の建物へ支障を来す可能性がある倉庫などの危険な空き建築物も補助対象とする予定である。

建築課

水道管凍結防止

問 凍結防止において、どのくらいの水量を出すのか指導をしないと、結果的に余分な水まで流すことになる。十分に指導をすべきではないのか。

答 寒波が来る前に広報などを行っており、ご指摘のとおり、どれくらい水を出したらいいのかという問い合わせもあっている。今後は、事前に広報紙などによって適量な水の出し方などを広く周知していきたい。

水道事業給水条例の一部改正

問 旅館などの料金はどうか。

答 今回の料金改定後は使用量に応じた料金体系となり、基本料金の差額以外は他と同じになる。

水道課

多比良港工業団地の企業誘致

問 どのような業種の誘致を想定しているのか。

答 今、県において半導体関連産業などの誘致に取り組んでおり、市においても、半導体関連産業なども対象にできるよう、水がどれくらい使えるのか調査する必要がある。令和4年度から井戸と河川の調査を実施している。

企業誘致推進室



現地視察（多比良港工業団地）



行政調査報告

議会活性化特別委員会

1月23日～25日

【調査項目】

- ・ 議員定数・報酬及び費用弁償、政務活動費
- ・ タブレットの活用
- ・ インターネット中継

鹿児島県南九州市議会

福岡県 大川市議会

福岡県 田川市議会

議会活性化特別委員会の調査項目について、九州管内で人口5万人未満の3市議会において行政調査を行った。

議員定数については、3市議会とも改選のたびに削減されてきたとのことであった。

定数現状維持派は、「議員を減らせば市民の声が市政に届きにくくなる」、定数削減派は、「議会自体の存在と議員の質が問われている。少数精鋭の議会を目指すべき」などの意見が聞かれた。

議員報酬については、低く抑えられていて若年層の立候補が難しいのではないかなど

の話であった。

タブレット活用、インターネット中継については、南九州市議会と田川市議会においてはすでに導入されていて、便利なツールとして活用され、ペーパーレスによる事務の効率化と経費削減が図られているとのことであった。

今回の調査を参考として、今後の検討課題の協議を進めていきたいと思います。



田川市議会

議会広報編集特別委員会

2月1日～2日

【調査項目】

- ・ 議会だよりの取り組み状況

福岡県 須恵町議会

須恵町議会の「議会だよりの」は、議会広報全国コンクールで何度も上位の表彰を受けており、優秀な広報編集特別委員会である。

円卓のテーブル前にテレビモニターが数台置いてあり、タブレットでモニターに資料を映し出す形で研修が行われた。

「市民の声を掲載する欄を設けたらどうか」、「写真をもっと多く使ったほうが読んでもらいやすい」、「余白が少ない。そのページに活字が多すぎると読者は、疲れて読むのをやめてしまう」、「表紙の写真の作者に撮影時のエピソードを取材して掲載してはどうか」など、多くのアドバイスがあった。

今後の紙面づくりの参考にしたいと思えます。



須恵町議会

市政を問う 9名の議員が一般質問



まちだ 町田 康則…… P 13	やすのり 康則…… P 13	やまもと 山本 松一…… P 14	まついち 松一…… P 14	もとむら 元村 康一…… P 14	やすかず 康一…… P 14
さかもと 坂本 弘樹…… P 15	ひろき 弘樹…… P 15	やざき 矢崎 勝己…… P 15	かつみ 勝己…… P 15	おおやま 大山 真一…… P 16	しんいち 真一…… P 16
ひらの 平野 利和…… P 16	としかず 利和…… P 16	うえだ 上田 あつし 篤…… P 17	あつし 篤…… P 17	ふかほり 深堀 よしあき 善彰…… P 17	よしあき 善彰…… P 17

一般質問は、質問者自身が会議録をもとに原稿を作成しています。

市三役の退職金減額を



町田 康則 議員

議員 令和4年1月7日、長崎県知事になる前に大石賢吾氏に話を聞く機会があり、県政に対するマニフェストを頂いた。14項目が書いてあり、最後に知事退職金3144万円の辞退という項目があったので、なぜなのか聞いた。大石氏は、コロナ禍という非常事態を県民の皆さまと共に乗り越えるためには、自らの身を切る覚悟が必要と判断し、知事退職金1期4年にあたり3144万円を辞退すべきと思ったとのことだった。

退職金がゼロということ
は、4年間の所得で大変な違いになってくる。雲仙市長（人口4万人）は、給与1355万円×4年で5420万円＋退職金2061万円で合計7481万円になり、長崎県知事（人口137万人）は、給与1716万円×4年で6864万円（退職金ゼロ）となり、市長より617万円低い。大阪府知事（人口883万人）は、給与1558万円×4年で6232万円（退職金ゼロ）なので、市長より1249万円低い。大阪市長（人口275万人）は、給与1499万円×4年で5996万円（退職金ゼロ）なので、市長より1485万円低い状況である。大阪府内の退職金ゼロの首長は、14首長あり、7割・5割カットも18首長ある。金澤市長の退職金減額の考えは。

市長 雲仙市と長崎県はそれぞれ果たすべき役割が違うので、そのような比較については、私が意見を申し述べる立場にはないと考える。

千々石町公民館新設は



山本 松一 議員
(会派：新たな風)

議員 千々石町公民館は、開館から52年が経ち老朽化しており、前回の質問から、1年以上経過したが、計画の進展は。市の建て替え、複合化の計画検討は時間がかかりすぎる。真剣に検討されているのか。駐車場も狭く他の場所での建設が望ましいと考えるが。

教育長 規模や駐車場確保、複合化の検討を幅広い視点から進め、令和12年度完成予定よりも前倒しで建て替えることができるよう検討を進める。

外国人労働者雇用対策

議員 現在、日本は圧倒的な人材不足で就労人口が減っている。市は人手不足解消の切り札となる外国人労働者の

動向把握をどのように考えているのか。

観光商工部長 市内で働く外国人は、農林業225人、卸小売業162人、製造業135人、漁業14人、その他51人の合計587人であり、労働の実態、状況把握は必要と考えている。

議員 外国人労働者雇用のための住宅リフォーム補助や家賃補助の検討はできないのか。

市長 住宅リフォームへの既存事業拡充を含め、どのような支援が必要とされ、効果的なのか研究し整理するよう指示している。

介護慰労金の増額を

議員 要介護4・5の介護が必要な方を、1カ月の内25日以上介護した家族の慰労金が、月額6千円は少なすぎる。物価高騰もあるので月額1万円に増額できないのか。

健康福祉部長 今回の要件緩和で、慰労金・用品とも1千円増額し、月額7千円となる。

固定資産税のあり方



元村 康一 議員
(会派：市民の会)

議員 小浜町木指名(10自治会)に、農商務省から名代表者ほか375名に所有権移転された山林・原野などがあり、その一部を数名に売却してある。当時の売買契約書には「所有権移転は手続上未済になるも固定資産税は買主が負担する」となっており、本人が署名しているが、数年前から数名が「名義変更ができないという理由で税は納付しない」ということから、やむなく木指名が負担している。木指名は、名有地を今後どのように管理していくのか苦慮しているため、次の3点について質問する。

- ①実質所有者に直接納税通知を出せないのか。
- ②名有地を市で買い上げることはできないのか。
- ③市に寄附を申し入れた場合の対応は。

財務部長 ①地方税法により、登記されている所有者に課税する。②公共事業などで活用の見込みがない土地は現在購入していない。③公用、公共用に活用が見込まれ、かつ、名義変更や抵当権など係争の原因になる恐れがない物件については総合的に判断する。

議員 市の対応は当然だと理解するが、市の行政区域内にある木指名が苦慮している、黙って見ている訳にはいかないのではないのか。

市長 令和5年4月から施行される法務省の所有者不明土地の解消に向けた制度見直しにより解決に向かう可能性が出てきたのではないかと考えている。質問の趣旨も十分理解しており、関係機関と連携し、調査、研究する。

令和5年4月から施行される法務省の所有者不明土地の解消に向けた制度見直しにより解決に向かう可能性が出てきたのではないかと考えている。質問の趣旨も十分理解しており、関係機関と連携し、調査、研究する。

野良猫不妊手術費助成



坂本 弘樹 議員

野良猫に対する不妊手術助成を

議員 長崎県動物の愛護及び管理に関する条例が令和5年4月1日に施行される。この第12条に飼い主のいない猫に給餌及び給水を行う者は、不妊または去勢の措置が実施されている猫を対象とし、汚物等の適正な処理を行うことが規定された。市として地域猫活動を強く推進し、地域猫以外の飼い主のいない猫に対する不妊・去勢手術費助成ができないのか。

環境水道部長 県は、飼い主のいない猫に対する不妊・去勢手術費の助成として地域猫活動推進事業を設けてい

る。

この事業は飼い主のいない猫の過剰繁殖や糞尿被害などを防止するため、不妊・去勢手術の実施や餌の管理、排泄物の処理などを地域住民が主体となっていく際に、不妊・去勢手術費を全額、県が負担する事業であり、一番有効な手段と考える。しかし、現実問題として地域猫にならない野良猫が生息し、糞尿や過剰繁殖により住民の生活環境に支障をきたしている事例もあることから、市としてもそのような猫に対する不妊・去勢手術費助成実現に向け、まずは、島原獣医師会などの関係機関と協議をしたいと考える。



学校給食費の無償化を

学校教育費の負担減を

議員 政府の子ども・子育て政策で国民が一番望んでいることは重過ぎる教育費の負担軽減である。学校給食無償化を所得に関係なく、全ての子どもに実現ができないのか。

市長 学校給食費の無償化は保護者の経済的負担軽減に寄与し、子どもの貧困対策や子育て支援として有意義であるが、厳しい財政状況では1億8千万円の費用捻出は困難である。

高齢者生活支援策を

議員 高齢者人口の増加に伴い、加齢性難聴者の補聴器購入の助成を求める声が広がっているが、既存の制度で

補聴器を購入している人はどのくらいなのか。

健康福祉部長 聴覚障害による身体障害者手帳の取得者は、令和5年1月1日現在で207人である。そのうち、補装具費支給制度による補聴器購入者は152人で、利用率は73%である。

議員 制度の対象外の人に対し、既存制度の見直し、市独自の支援策についているんな角度から調査研究を望む。

商工業者への支援策は

議員 令和5年10月1日から実施されるインボイス制度は小規模事業者の経営悪化を招き、経済的取引から除外され、廃業に追い込まれる可能性があると思うが、自治体として何か支援する方法はないのか。

観光商工部長 機械装置導入費なども補助金の対象になる国の持続化補助金が準備されるようだ。県商工会連合会や市商工会とも連携して支援に努めていく。



矢崎 勝己 議員

人口減少問題の対処は



大山 真一 議員
(会派：創新・公明)

新年度の政治姿勢

議員 施政方針の中の、人口減少問題に対処する各基盤整備の取り組みについて尋ねる。

市長 人口減少問題に関する本市の現状は、雲仙市発足時に比べて8902人、17.8%減少しており、核家族化、少子高齢化の進行により今後さらなる減少が見込まれる状況にあり非常に危機感を持っている。

本市が目指す将来像を実現するためには生活・生産・環境の基盤整備が特に重要で、人口減少問題の解消に向けて3つの基盤をバランスよく効果的に稼働させるため、本市の特性を生かした各種施策・

事業などの取り組みを着実に進めたい。

生活基盤の整備

議員 福祉医療制度拡充の具体的な内容は。

健康福祉部長

福祉医療制度対象者の拡大については、これまで中学校卒業までとしていた対象年齢を高校生世代まで引き上げるものである。また、乳幼児のみ実施の現物給付を小中学生まで拡充する。

環境基盤の整備

議員 ゼロカーボンシティの実現に向けての具体的な取り組みはどのようなものか。

環境水道部長

具体的な例として考えられる施策は、太陽光発電・蓄電池セットの購入費補助や事業所向け省エネ設備更新費補助、クリーンエネルギー自動車購入費補助などを想定している。

議員

今後も市民の福祉向上に向けた執行部のたゆみない努力をお願いする。

部活動地域移行とは



平野 利和 議員
(会派：創新・公明)

議員 放課後児童クラブ活動の、今後の部活動地域移行について説明を。

教育次長

部活動が少子化により部員不足、競技専門性の高い教員不足や学校の働き方改革の推進で様々な問題を抱えている。国の有識者会議において、将来に子ども達の持続可能なスポーツ活動を推進するために、令和7年度をめどに生徒や地域のニーズに応じたこれまでの枠組みにとらわれない新たな仕組みを、まずは土日の部活動から推進していくという提言があった。本市においても地域部活動の在り方を研究し、移行に向けた取り組みを進めていく。

議員

部活動で提案したい



のが、市内を走っている「チヨイソコラんぜん」を子ども達の移動に活用できないのか。利用料や時間帯も議論が必要であるが検討して欲しい。また、休眠預金活用事業の活用はできないのか。

総務部次長

当該事業の目的である部活動等に関する生徒の移動手段の確保に向けては、事業構築を見据えて市内タクシー事業者が参加意向を示している。事業採択に向けて教育委員会やPTAなどの関係者と協議しながら、子ども達の移送を含め、持続可能な地域交通の確立となるよう対応を図っていく。

子ども医療費現物給付

安心して病院にかかれる

議員 福祉医療費の拡充方

針（子どもの定義を高校生まで、中学生までの子どもは医療費の窓口負担を800円までとする現物給付方式とする）を支持し、市長の決断に敬意を表する。国保制度は、かつては農家と自営業者の、今では無職と非正規労働者の保険となった。加入世帯の所得は大きく減り、滞納の増加は当然だが、資格証明書しかない場合、病院受診はできないのか。

市長 国保の資格証明書

は、納付期限から1年以上納付しない滞納者に対し、保険料の適切な納付を促すための仕組みとして国民健康保険法



上田 篤 議員

に規定されている。

地域振興部長 資格証明書

を交付した場合、医療機関の窓口ではいったん医療費の全額を支払い、後に市から保険給付相当額の払い戻しを行う。

資格証明書でも病院に行ける

議員（2009年1月、

日本共産党小池晃参議院議員の質問主意書）その主旨は「資格証明書交付世帯であっても医療を受ける必要が生じ、かつ、医療機関に対する医療費の一時支払いが困難である旨の申出を行った場合には、当該世帯主は保険料を納付することができない特別な事情に準ずる状況にあると考えられることから、市町村独自の判断で短期保険証を交付することができるといふものだ。事務連絡として全国の自治体に通知をされたと書いてあるが、本市の状況は。

地域振興部長 雲仙市でも

同様の取り扱いをしている。

子どもの遊び場の設置

議員 市民からは、子ども

が遊べる場所を求める声が大きいが、「全天候型子どもの遊び場」設置の計画は、どのようなになっているのか。

総務部次長 令和5年度に

基本計画の策定、令和6年度に実施設計、令和8年度に施設の開設を予定している。市民の関心も大きいと考え、スージュールの前倒しを含め、可能な限り早期の施設開設に努める。

本市の重要課題、人口減少問題の克服は

議員 結婚に対する支援や

新子育て応援パッケージを展開し、出生数の増加を目指してきたが、これまでの成果や

課題をどのように捉えているのか。

市長 結婚・出産に対する

支援は、県内自治体の中でも最も手厚いものとなっているが、本市がさらに飛躍するためには、現行制度の分析や効果検証を踏まえ、より効果的な施策を構築する必要がある。

地域振興部長 婚姻数およ

び出生数は、合併後の平成18年から減少傾向が続いていたが、共に令和2年で下げ止まり、令和3年から増加に転じている。

他の質問

- ・ 消防団組織の現状と支援
- ・ 雲仙ブランド産品等の海外展開
- ・ 各産業における人材確保と育成
- ・ 市内高校の魅力ある学校づくりと未来を担う人材づくりへの支援



深堀 善彰 議員
(会派：新たな風)



行政視察受入一覧

(R4.4月~R5.3月)

視察日	市議会名	委員会（会派）	視察内容
令和4年 7月21日	千葉県 袖ヶ浦市議会	せいふう 清風会（会派）	光り輝く雲仙魅力アップ事業 農業次世代人材投資事業
令和4年 8月 2日	長崎県 西海市議会	産業建設常任委員会	基盤整備を契機として生産拡大および 人口増加を達成した八斗木地区の取り組み
令和4年10月12日	愛知県 岡崎市議会	民政クラブ（会派）	農業施策、鳥獣被害対策
令和4年10月26日	島根県 松江市議会	建設環境委員会	小浜温泉バイナリー発電所
令和4年11月 8日	宮崎県 えびの市議会	産業厚生常任委員会	「田代原野営場」「トレイルセンター」の管理運営 「雲仙 BASE」の設立経緯や運用
令和4年11月14日	宮崎県 小林市議会	経済産業委員会	雲仙市小浜体育館建設
令和5年 1月11日	愛媛県 大洲市議会	しゆう 志友会（会派）	鳥獣被害対策実施隊
令和5年 1月26日	長崎県 対馬市議会	議会広報 編集特別委員会	議会だよりの作成
令和5年 2月 7日	滋賀県 甲賀市議会	りんふう 凜風会（会派）	移住定住促進事業及び結婚支援
令和5年 3月14日	韓国 ソウル特別市 区議会議長協会	区議会議長協会	小浜温泉バイナリー発電所

議会の会議録は雲仙市のホームページからも見ることができます

一般質問を含む議会の会議録は、
インターネットを通じて自由に閲覧することができます。

雲仙市役所ホームページ を検索

雲仙市議会 をクリック

会議録 をクリック



発言者や内容により検索することができます。

令和5年第1回定例会分の掲載は、5月31日を予定しております。

議会のうごき

令和5年1月20日（金）

第11回島原半島議会議員合同研修会

南島原市のマーキーズで開催された研修会では、島原振興局の主要事業について、および高規格道路「島原道路」についてと題し、長崎県島原振興局の朝末建設部長、小川道路第二課長に貴重な講義をいただきました。

今後の3市議会の活動と議員間の親交を深める有意義な研修となりました。



令和5年2月25日（土）

宮中献穀事業記念碑除幕式

令和4年度、宮中への献穀米の献上を無事に終えられ、同事業が吾妻町牧の内地区で実施されたことを記念し、記念碑の除幕式が行われました。

令和5年3月5日（日）

国道57号 富津防災「中心杭打ち式」

千々石町から小浜町間に計画されている、「国道57号富津防災」の本格的な測量着手を祝う式典「中心杭打ち式」が開催されました。

多くの関係者や来賓が出席される中、くい打ちのデモンストレーションが行われました。



令和5年3月21日（火）

「メットライフ財団支援 らたん」開所式

生活や学習等の環境に困難を抱える子どもを支援するため、雲仙市と「一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさき」が連携し、子どもの居場所事業に取り組むことを目的に、千々石町の旧下峰児童館を改修した「メットライフ財団支援 らたん」の開所式が行われました。

～あなたの声をお聞かせください～

市民の皆さまにおかれましては、平素より雲仙市議会にご関心をお寄せいただき、厚くお礼申し上げます。

昨今、地方議会選挙における投票率の低下、無投票や若者と女性の議員が少ないなどの課題があります。

このような状況のもと、雲仙市議会では、議会活性化特別委員会を設置し、議会活動の活性化や議員の定数・報酬など調査・研究を行っております。

その一環として、このたび市民の皆さまにアンケートを実施することにしました。

ご面倒をおかけしますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、回答にご協力くださいますようお願いいたします。

令和5年5月
議会活性化特別委員会

アンケートの回答方法

① 下の二次元コードをタブレットやスマートフォンで読み込むと、アンケート回答ページが開き、回答ができます。



アンケート
二次元コード

② 上記の二次元コードで回答できない方は、市役所、各総合支所にアンケート用紙を設置しますので、鉛筆か黒のボールペンで記入して、「アンケート回収箱」へ投函してください。

———— アンケート実施期間 ————
令和5年5月1日から5月31日まで

編集後記

爽やかな季節となりました。新しい年度が始まり1カ月、よりよいスタートとなったことと存じます。私ども「議会だより」を編集している委員も心機一転張り切っております。

今月中には、世の中の仕組みを一変させた「新型コロナウイルス」も一般的なインフルエンザと同等扱いとなり、普通の生活ができるようになります。明るい話題に飛躍の年になるのではと期待されます。

一方、物価高騰は、収まりを見せず厳しい経済情勢は続きそうですが、皆さまの暮らしの中に幸多きことを祈っております。
(前田 哲)



議会広報編集特別委員会

委員長 前田 哲
副委員長 藤本 淳次郎
委員 平野 利和、上田 篤
林田 哲幸、山本 松一

議会を傍聴してみませんか？

令和5年第2回雲仙市議会定例会の
会期日程（案）は

**6月5日（月）～
6月30日（金）**です

- 一般質問 6月15日（木）～6月20日（火）
- 議案質疑 6月21日（水）
- 委員会 文教厚生常任委員会
6月22日（木）
産業建設常任委員会
6月22日（木）・23日（金）
総務常任委員会
6月23日（金）

※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。

※簡単な手続きで傍聴できますので、議場へ足をお運びください。



お知らせ

「議会だより」へのご意見ご感想がありましたら、議会広報編集特別委員会（議会事務局）までお寄せください。



この印刷物は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。